

人が変わっていくために

岐阜市立境川中学校 3年
奥村隼大(おくむら しゅんだい)

「人が変わるの、立って何かをした時だけ」この言葉は「夢をかなえるゾウ」という本の中に出てくる言葉です。この言葉を聞いて、みなさんは何を感じ、何を考えますか。

私は、この言葉を見たとき、「どれだけ一生懸命勉強しても、それはただ『座っている』だけに過ぎないのか」と驚きました。そして、自分の様々な経験を思い起こし、一つの考えにたどり着きました。

私は、水泳を10年間やっています。そして今、夏にある中体連の大会に向けてタイムを1秒でも縮めようと努力を続けています。「もっと速く泳ぐには、どうすればいいのかな」と自分の泳ぎ方について考えてみたこともあります。しかし、頭で考えているだけでタイムが縮まったことは一度もありません。自分の泳ぎ方について頭で考えることはとても重要なことなのですが、もちろん改善点について、自分で考える、どこを変えるとより良くなるのか、何を改善するともっと速くなれるのかについて、自分の頭で座ってよく考えること、とても重要なことなのです。しかし、頭で考えてみたことを実践してみなければ、何も始まりません。成長することもないのです。まさに、「人が変わるの、立って何かをした時だけ」なのです。みなさんにも同じような経験があるのではないのでしょうか。自分の体を動かしてみなければ、今の状態と変わることはほぼありません。

私は勉強でも同じことが言えると思います。理科の実験を例にとります。みなさんは、自分たちの手で実験をするか、それとも実験の映像を見るか、どちらが覚えやすいと思いますか。もちろん実験をする方だと答える人が多いと思います。私たちは中学校に入学してからずっとコロナ禍で学習してきました。そのため、なかなか実験する機会に恵まれませんでした。授業では、実験の様子を撮影した映像を見て学習することが多くありました。もちろん、それでも実験の様子は分かりますし、学習もできます。しかし、最近になって少しずつ実験ができるようになってくると、私の授業への理解は格段に上がりました。実験を自分たちの手で行うことで、結果をその場で目視でき、考察もより深く考えることができるようになったからだと思います。自分の手で実験することで、学んだことは頭に残りやすくなりました。

最近は何かを調べようとするときに、インターネットを使うことが多くなりました。インターネットを使えば、知りたい情報があふれているし、すぐに知ることができます。けれど、インターネットを使って調べたことはなかなか頭に残らないような気がしています。だからこそ、実際に見ること、触れること、経験することが大切だと考えました。

しかし、頭で考えてみて、ただやるだけでは何も始まっていけないと思います。そこで、私はさらに「楽しむ」という考えも付け加えたいと思います。

私が通う境川中学校には「なりたい自分」という活動があります。「なりたい自分」とは、自分が将来どのような人間になりたいかという目標です。そして、全校生徒がそれぞれ日々努力を重ねています。私のなりたい自分は、「何事も楽しみながらできる自分」です。そして、「楽しみながら」という考えを大切にしています。私は生徒会に所属していますが、どんな活動も「楽しみながら」やるように心がけています。でも、時々悩むこともあります。しかし、どんな活動も「楽しみながら」やることでワクワクしながら物事を進められるし、自分のことだから残っていき、身に付いていくと思います。

私が最初にみなさんに伝えた言葉を覚えていますか。「人が変わるの、立って何かをした時だけ」です。そして私はここに「楽しみながら」という考えを付け加えたいと思います。「人が変わるの、立って『楽しんで』何かをした時だけ」。それが、私がたどり着いた一つの考えです。私もあなたも、自分の足で立ち、これからも変わっていくために、楽しみながら行動していきましょう。そしてそれが、「夢をかなえるゾウ」のように、私たちを導いてくれるはずです。